

平成28年度 第4回総合開発委員会会議録（要旨）

【開催日時・場所】

平成29年3月22日（水） 13：30～ 八雲町役場第1・2会議室

【出席者】 委員：鎌田和弘、坂野俊樹、刀禰清貴、戸田美恵子、秋松等、阿部政邦、  
長江隆一、日村伸、小笠原英毅、大野博子、吉田久子、小出政彦、  
竹浜俊一

町長：岩村町長、伊瀬副町長、植杉副町長、田中教育長、各課長

傍聴者：3名

コンサル：2名

【要旨】

- 新八雲町総合計画後期実施計画（平成29年度）について説明し、質疑を受けた。
- 第2期八雲町総合計画基本構想（案）について説明し、質疑を受けた。
- 平成29年度予算の概要について説明した。
- 八雲総合病院本館棟等玄関名称と開錠時間等について説明し、質疑を受けた。

【内容】

1. 開会

2. 町長挨拶

3. 会長挨拶

4. 議事

(1) 新八雲町総合計画後期実施計画（平成29年度）について

資料1、1-1について企画振興課企画係長より説明。

・質疑

(委員)

・落部の八雲厚沢部線の道路改良工事について詳しく聞きたい。

(町)

・落部については、以前から北海道に道路の改良を要望していた。場所は落部町民センター付近の線路から高速道路の下側あたりまでが改良区間となっている。平成30年の春以降に道路の工事にかかる予定で、北海道が進めている。用地買収の協議は平成29年度からされる予定となっている。

(委員)

- ・過去のルートでは用地買収がうまくいかず、ご破算になった経緯がある。新しいルートでは落部町民センターを通るとのことだが、実施設計の内容と町民センターの利用に問題はないのか。

(町)

- ・説明が不足していた。道路の用地は落部町民センターの正面玄関のすぐ近くまで道路用地として北海道に売却予定となっている。正面玄関を継続して利用することが困難であり、一部改修予定である。事業費はその改修のための経費の計上である。玄関の出入りや駐車のための改修の検討を行っているところである。

## (2) 新八雲町総合計画の評価について

資料2について企画振興課企画係長より説明。

・質疑

(委員)

- ・8ページの主要課題5の6行目「また、学生を含めた」とあるが、学生とは高校生のことか。また、14ページで人口15,000人を目指すということだが、現実が13,440人という状況である。人口15,000人という目標の実現の可能性についてどのように考えているのか。17ページの基本目標3の4行目「町内に複数の病院を有する」と記載があるが、これはどの病院を指しているのか。

(町)

- ・「学生」については、高校生を含めている。14ページの人口については、将来における目標ということで、その目標に向けて今後10年間で様々な取り組みを行っていく。13,440人は、あくまで現在の減少率が今後も継続した場合の推計である。必ずしも今後、同じ減少率が続くわけではなく、町としても高い目標を持ちたい。現計画の人口推計では、17,000人という当時の推計で18,000人が当時の目標となっていた。夢のある目標値を設定したということで、ご理解いただきたい。なお、病院は総合病院と熊石の国保病院を含めている。

(委員)

- ・人口の目標については、わからないわけではないが、新聞報道などでも人口減少の加速が言われている中で現実的ではないと感じる。

(町)

- ・計画は目標を持つことが重要と考える。漠然としたものではなく、目標に少しでも近づけるために定めた設定であり、ご理解いただきたい。

(委員)

- ・以前から中核都市という言葉には違和感を持っていた。今回7ページの主要課題2の5～6行目に「道南北部の中心地となることが求められている」と記載がある。また、20ページにも「②道南北部中心プロジェクト」と記載がある。八雲が一番でなくてはいけない、という意図の表現と考える。平成28年2月18日に4町連携の協定が結ばれ、その協定書の中には、自治体間の相互補完、役割分担による連携を図る、4つの町が並列的にあると受け止めている。4町連携が結ばれた現在、基本的に八雲が中心となるような表現が正しいのか、疑問である。

(町)

- ・八雲町は4町連携の4町の中で、人口規模からすれば最も大きな町である。そうした観点から、事務局を引き受けるに当たっても、リーダーシップをとらなければ、4町連携が進まないという現状もある。他の3町では職員の数も八雲町より少ないということもあり、他の町の担当者からも八雲町がリーダーシップをとることが求められている現状がある。4町連携は、お互いが持っていないものを補完し合うことによって、個々の町の財政支出を抑えることができ、無理な投資も減らすこともできる。「都市」という言葉は前回から削除しているが、中心的な役割を担うべきだという考えを踏まえた記載内容となっている。ご理解いただきたい。

(委員)

- ・立地や新幹線の開通、病院の集積があることを含めて、中心都市であることについては理解している。近隣町との関わりを重視する中で、八雲町が一番でそこに集まれ、という考え方がどうなのか、ということがある。精査をしていく中で、この文言が適切かどうかについても、検討いただきたい。

(委員)

- ・18ページの基本目標4の6～7行目「歴史・文化の保全」となっているが、施策分野の表中は「歴史・文化の保存」となっている。どのような意図でこうした使い分けをしているのか伺いたい。文化という面では、町内にたくさん文化団体がある。ここでいう保全は、歴史的な文化なのか、現在町の団体が進めている取り組みを含めた広い意味の文化なのか。保全・保存というと消極的な印象を受ける。考え方を伺いたい。

(町)

- ・文化は、八雲町でいえば、徳川さんから続く歴史的な文化と、熊石の古い文化を保存する、後世に伝えるということが重要と考える。同時に後世に伝えるだけでなく、積極的に活用していく、という意味も含んでいると考

えていただきたい。「保全」「保存」については、使い分けに深い意味はない。ご指摘を踏まえれば「保存」が適切と考える。こうした字句の訂正については、適宜ご指摘いただければ修正していく。

(委員)

- ・ここでいう歴史・文化は伝統文化の部分で、町民活動の文化は生涯学習の推進の分野に入るという理解でよいか。

(町)

- ・そのように理解していただければと考える。

(委員)

- ・この計画の目標は人口減少の抑制と、幸福度を上げることと認識して良いのか。

(町)

- ・究極の目標はそこになる。ただし、実際に達成できるかについては疑問がある方もいるかもしれない。ただ、目標は高くもって、意気込みを大切にしながら、取り組みを進めていきたい。町長もそうした意気込みである。

(委員)

- ・可能であれば、基本目標ごとに、どのような効果があるか、ということも示してはどうか。

(町)

- ・本計画では、4月以降に策定する基本計画の中で、KPIという数値目標を、それぞれの施策に応じて設定することを検討している。大きな目標としては人口と幸福度だが、個々の施策ごとにも「農家数の維持」といった数値目標を設定していきたい。それらを総合的に実施し、人口の維持につなげていくことになると考えている。

(委員)

- ・結局、ゴールが人口と幸福度っていうことであれば、現時点で設定された5つの目標をこれだけ達成すればこれだけ人口が増加する、という見込みがなければ、目標値を達成することは難しいのではないかという単純な疑問であった。

(委員)

- ・先ほどの小笠原委員の発言に似ているが、7ページの主要課題1「人口問題への対応」の中で、人口減少が前提となることが記載されている。20ページの戦略プロジェクトとして2つ記載されているが、これが人口減にどの程度効果が見込まれているのか。また、国立病院の撤退によって、どのぐらい人口が減るか、経済に悪影響を及ぼすのか、町としてどのようにお考えか伺いたい。

( 町 )

- ・人口問題に対する総合戦略の効果については、現時点では雇用の確保や移住政策による効果の見込みは厳しい。人口増加には雇用の場がないと厳しく、若い人が高校卒業に残れる、大学卒業後に戻ってこられる環境をつくることが重要となる。今後は、R I P M O 事業で地域おこし協力隊を町外から若者を連れてきて、町内に定住させていくことを想定しているが、現時点では進んでいない。

( 町 )

- ・国立病院の撤退による経済的な波及効果については、担当課でこの話が出た当初に試算した結果ではあるが、15億円以上の経済的なダメージがあると試算している。

(委 員)

- ・自身はこの5つの基本目標についてはよいと考えている。町民それぞれが、この目標のどこかには当てはまることになる。自身であれば基本目標2だが、自分がこの目標の達成に向けてこういう貢献ができて、と実感できるような数値目標がほしいということである。

(会 長)

- ・町長、補足があればお願いしたい。

(町 長)

- ・10年後の人口を15,000人ということで設定している。住みやすい町であれば、人口が増えていくと思うが、今の時代では人口の増加は難しい。減少を抑制することが主軸になる。それに向けてはやはり働く人を増やすことが重要、働く場所はけっこうあると考えている。働ける人を呼び込んで、子どもを産んで育てる環境を整備していくことが重要である。また、次年度、各分野の10年後の目標を決めながら、進めていこうと考えている。

(3) 平成29年度予算の概要について

資料3について財務課長より説明。

- ・質疑なし

(4) 八雲総合病院本館棟等玄関名称と開錠時間等について

資料4について病院医事課長より説明。

- ・質疑

(委 員)

- ・函館バスが乗り入れをする関係で、ロータリー化が必要だという点は否定しないが、以前の計画では職員・患者の癒しの場として緑地化の提案があった。過去にそれはおかしいという指摘をしたところ、見直すという回答

をいただいております、現在実際に緑地化はなくなっているわけだが、どのような経過があったのか、伺いたい。

( 町 )

- ・当初、緑地化の考えはあった。その後、様々な意見を伺った中で、駐車場の台数を優先することを院長の高度な判断とし、また、町長とも協議した上で、このような形となった。

(委 員)

- ・患者の癒しの場は駐車場を確保した関係で、現在設置は考えていないということか。

( 町 )

- ・以前のような緑地化については考えていない。

## 5. その他

( 町 )

- ・本日で基本構想の審議を終えたということで、今後は基本計画の策定に入る。次回は5月の中旬頃を目安に開催を予定している。

## 6. 閉会